

No. 192

令和4年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 ☎(0241)23-3263
HPアドレス <https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行／北塩原村議会 編集／議会広報調査特別委員会

目次

村民の声	2
第2回定例会、第1回臨時会	3～6
村政を質す（一般質問）	7～15
その他	
『ロシアによるウクライナ侵攻に 断固抗議する決議』	16

議会だより

3月定例会



ご入学おめでとう！

さくら小学校 入学式

第6回 村民の声

昨年より始めました「村民の声」。村民の皆様よりお寄せいただいた声を掲載しています。投稿ご希望の方は、下記の「村民の声」募集要項をご参照ください。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

『裏磐梯からの贈り物』

つのだ じゅんいち
角田 純一さん（狐鷹森）



私は、二〇〇七年四月に、ご縁があった裏磐梯に漆芸工房を開設しました。それは、一九九九年に磐梯山と桧原湖が題材の『残照』（福島空港ビルに設置）を、父弘司を手伝い制作したためです。当初は一人での出発でしたが、今では家族が増え現在に至っております。

さて、以前より多くの芸術家が自然豊かな裏磐梯に魅力を感じ、そのインスピレーションを形にした作品を発表しております。私が尊敬する日本画家の奥田元宗先生や版画家の斎



藤清先生も、素晴らしく斬新な裏磐梯を表現した名作を残されました。私はこの先生方に一步でも近づけるよう日々精進・努力を続ける覚悟です。

現在工房では、第六十回記念日本現代工芸美術展（四月東京都美術館）に息子をモデルとした漆絵制作と、ホテルダナン三日月（ベトナム国ダナン市）に収まるグランドピアノの最終仕上げをしております。

昨今は暗い世相ですが、お陰様で私は制作三昧で過ごすことが出来て有難いです。これから、裏磐梯から私なりの《ONLY ONE》の新作を世界に贈りたいと思います。

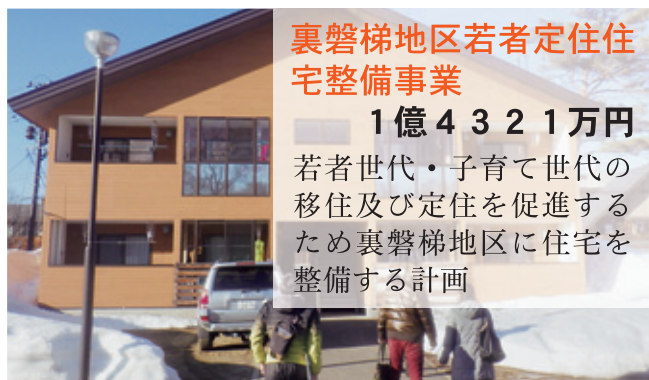
北塩原村議会広報議会だより 〈「村民の声」応募要項〉

- テーマ：自由（村への要望などは除きます。）
- 字数制限：500字以内
- 掲載：年4回発行議会だよりへ掲載します。
- 選考：議会広報調査特別委員会にて選考・決定します。
- 応募方法：投稿文に住所・氏名・電話番号を明記し、本人の写真を添付の上、下記の宛先に郵送または、メールアドレスに送付願います。
（写真の準備が出来ない場合は撮影に伺います。）
- 宛先：〒966-0485
北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 北塩原村議会事務局
- E-mail：gikai01@vill.kitashiobara.fukushima.jp
（役場本庁、裏磐梯合同庁舎、桧原出張所の窓口にご持参いただいても結構です。）

令和4年第2回定例会 令和4年度一般会計予算 32億5,608万円を可決!!

あらまし

令和4年第2回定例会が3月4日から10日まで7日間の会期で行われた。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由および説明、そして各議案の説明が行われた。4日目から5日目にかけて、8名の議員による一般質問が行われた。6日目は各常任委員会に分かれ、新年度予算を中心に議案審議を行い、7日目は追加議案を含む12の議案の質疑・討論・採決が行われた。議決は原案可決10件、原案同意1件、また、議員発議による「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致で可決した。



裏磐梯地区若者定住住宅整備事業

1億4321万円

若者世代・子育て世代の移住及び定住を促進するため裏磐梯地区に住宅を整備する計画



公共交通再編事業

956万円

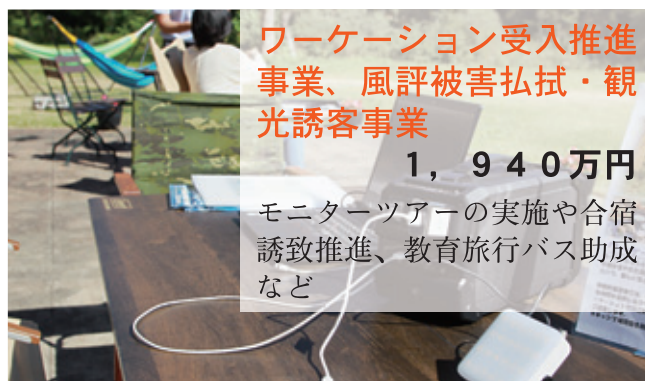
村内路線バス再編に係る費用、マイクロバスの整備など



温泉健康増進施設管理事業

4,908万円

ラビスパ裏磐梯のタイヤボイラー2台の更新



ワーケーション受入推進事業、風評被害払拭・観光誘客事業

1,940万円

モニターツアーの実施や宿泊誘致推進、教育旅行バス助成など

【答】村 長
利用期間の延長を考慮しておりますが、抜本的となれば返金も検討し、営業損益の補填についても検討しなければならぬと考えております。

【問】池田 睦宏 議員
ラビスパのボイラーが1基しか使えない状況について、シーズン券を持つている方に対しての返金は考えているのか。また、ラビスパに対する売り上げの補填はどうするのか伺う。

温泉健康増進施設
重油対策費

補正額

1億574万円

議案第10号
令和3年度北塩原村一般会計補正予算（第9号）

主な質疑

【問】若林 幸子 議員

早く対策を行えばこの予算は必要なかったのではないか。どのように責任を取るのか伺う。

【答】村 長

村民の皆様にお詫びを申し上げますと共に、ラビスパの運営がスムーズにいくようにすることが私の責任と考えております。

【問】遠藤 祐一 議員

この燃料費は復旧までの費用なのか。新年度予算には含まれていないがどのように考えているのか伺う。

【答】総務企画課長

3月までの重油対策費になります。新年度の当初予算には含まれておりません。タイヤボイラーの更新を出来るだけ早く実施いたします。



ラビスパ裏磐梯のボイラー

議案第14号
令和4年度北塩原村一般会計予算

東京農業大学関係の事業

【問】池田 睦宏 議員

全員協議会では東京農大に関するこういった事業は必要無いという意見であったが、なぜ残したのか伺う。

【答】農林課長

県の風評対策補助金の利用を考えており、他の交流している杉並区や市川市の住民を対象にモニターツアーを計画したいと考えています。

【問】佐藤 善博 議員

モニターツアーの今までの実績と今後の見通し、また、実習生受け入れによる関係人口の創出、これは何か。これもあと何年続けるのか伺う。

【答】農林課長

モニターツアーは8年やっています。各それぞれ1回当たり20名程度お越しいただき、関係人口が年間100名程度になった実績がありました。

【問】佐藤 善博 議員

この議会の中で、いろんな意見を言ってきたわけだが、何のために会議をやっているのか。納得できるような説明を伺う。

【答】村 長

東京農大連携事業につきましては201万1千円を計上しておりますが、ご意見を踏まえまして執行を凍結すること

いたします。

地域おこし協力隊

【問】若林 幸子 議員

本村の地域おこし協力隊は、他に比べて定着していない。活動も見えないので定期的に議会へも報告すべきであるが考えを伺う。

【答】総務企画課長

これまで2名が定着しました。報告会について検討したいと思います。

農産物集荷事業費

【問】伊藤 敏英 議員

道の駅に農産物を運ぶのは農家の人がやっていないところはあまり聞かない。売れ行きを知るなどしてもらったためにもこの費用は見直すべきではないか。

【答】村 長

生産農家の意欲を失わない様に説明会で説明をしながら次年度の実施について考えたいと思います。



道の駅裏磐梯

桜峠さくら保全事業

【問】若林 幸子 議員

人件費は村民が雇用されているのか。また、「桜を守る会」への補助金の内容について伺う。

【答】農林課長

3名の村の人を雇用しています。桜を守る会についても草刈りや肥料などをやって頂いている委託料となります。

【問】伊関 明子 議員

保全に対して作業内容が少ないようであれば、獣害対策や他の作業をさせてもよいのではないかと考えを伺う。

【答】農林課長

作業内容については4月から11月までの作業をラビスパに委託しておりますので、内容については今後検討します。

【問】酒井 利美 議員

昨年の記憶だと、1年間かけて見直す、または検討すると言っていたはずだが、検討した結果、今年もやるということにしたのか。検討していなかったのか伺う。

【答】総務企画課長

予算審査の際、見落としがありそのまま計上しました。大変申し訳ありません。

【問】池田 睦宏 議員

業務の内容を見直し、実働にあった報告のちに、妥当な金額の精算が予算書に反映できるのかどうか伺う。

【答】村 長

しっかりと皆さま方が納得できる執行状況、そして作業状況にしています。

【問】佐藤 善博 議員

議会の意見に対して精査されていないのであれば予算に挙げるべきではないのか、考えを伺う。

【答】村 長

令和4年度は、作業内容や態度の指導を行い、極力執行額を抑え進めてまいりたいと思います。



桜峠

発議第1号

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

提出者 佐藤 善博

賛成者 若林 幸子
五十嵐正典
伊藤 敏英

議決 全会一致で可決

※議決した内容については16ページに掲載しています。

議案第22号

て 教育長の任命について

氏名 石本 浩一

任期

令和4年4月1日～
令和6年3月31日

議決 全会一致で同意

請願・陳情

陳情第1号

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書を提出いただきたき件

請願者

海事振興連盟
会長 衛藤 征士郎
他17名

議決

採択

賛成 8

反対 1

(小椋元議員)

提出先

内閣総理大臣



第2回定例会議案および審議結果一覧

※議長は議決に加わりません。

議案番号	件名	賛成 (同意)	反対
議案第2号	北塩原村道路線の廃止について 村道北山・大塩線の道路改良に伴い重複部分 (改良部分)を廃止するもの。	9	0
議案第3号	北塩原村道路線の認定について 村道北山・大塩線の道路改良に伴う旧道部分の 路線を認定するもの。	9	0
議案第4号	蛇平多目的グラウンド条例 裏磐梯・蛇平地区に整備されたグラウンドの利用 方法を定めるもの。	9	0
議案第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 職員の育児休業等の取得要件緩和等について、 所要の改正を行うもの。	9	0
議案第6号	特別職の職員で非常勤のものの報酬 及び費用弁償に関する条例の一部を 改正する条例 消防団の処遇改善のため、団員の年報酬等の改 正及び機能別消防団を創設するもの。	9	0
議案第7号	北塩原村結婚祝金条例の一部を改正 する条例 子育て世代に重視した支援制度とするため支給 要件を追加するもの。	9	0
議案第8号	北塩原村国民健康保険税条例の一部 を改正する条例 全世代対応型の社会保障制度を構築するための 健康保険法等の一部を改正する法律および関係 政令の施行に伴う所要の改正	9	0
議案第9号	北塩原村消防団の設置等に関する条 例の一部を改正する条例 消防活動等の機能維持を図るため、定数(分団・ 役職ごと)の見直し及び機能別団員の創設によ る定員を定めるもの。	9	0
議案第10号	令和3年度北塩原村一般会計補正予 算(第9号) 温泉健康増進施設重油対策費、住民基本台帳法 の一部改正に伴うシステム改修費、保育士の処 遇改善対策費、新型コロナウイルスワクチン接 種体制確保事業、除雪対策費など	9	0

議案番号	件名	賛成 (同意)	反対
議案第11号	令和3年度北塩原村国民健康保険事 業費特別会計補正予算(第3号) 医療費の増加に伴い追加補正を行うもの。	9	0
議案第12号	令和3年度北塩原村簡易水道事業費 特別会計補正予算(第3号) 基金積立金分の追加補正を行うもの。	9	0
議案第13号	令和3年度北塩原村特定環境保全下 水道事業特別会計補正予算(第3号) 事業費確定による減額の補正	9	0
議案第14号	令和4年度北塩原村一般会計予算	9	0
議案第15号	令和4年度北塩原村国民健康保険事 業費特別会計予算	9	0
議案第16号	令和4年度北塩原村簡易水道事業費 特別会計予算	9	0
議案第17号	令和4年度北塩原村特定環境保全下 水道事業特別会計予算	9	0
議案第18号	令和4年度北塩原村簡易排水施設事 業特別会計予算	9	0
議案第19号	令和4年度北塩原村農業集落排水事 業特別会計予算	9	0
議案第20号	令和4年度北塩原村介護保険事業特 別会計予算	9	0
議案第21号	令和4年度北塩原村後期高齢者医療 特別会計予算	9	0
議案第22号	教育長の任命について 鈴木力雄教育長退任に伴う後任の人事	9	0
議案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に断固 抗議する決議 16ページに議決した内容を掲載しております。	9	0
意見書 第1号	国民の祝日「海の日」の7月20日 への固定化を求める意見書	8	1

反対：小椋元議員

第1回臨時議会

令和4年1月6日、第
1回臨時議会が開催された。

議案第1号

令和3年度北塩原村
一般会計補正予算(第
8号)

補正額

5,996万円

議決

全会一致で可決

○概要

・子育て世帯臨時特別
給付金事業(内容…
昨年の5万円支給に
続いて、子育て世帯
に追加5万円の給付
を現金で行うもの)
・住民税非課税世帯に
対する臨時特別給付
金事業(内容…生活
困窮者に対して10万
円を給付するもの)

議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 6月10日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。
村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL: (23) 3263 FAX: (25) 7358

HPアドレス: <https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>



1 佐藤善博 議員 8

- 税金及び使用料の徴収状況について
- クマさんバスの利活用について

2 伊藤敏英 議員 9

- 人口が減り続ける中での村づくりについて

3 池田睦宏 議員 10

- 簡易水道の無断接続の件に関する進捗状況及び新規加入に関する内規の作成などについて
- 村の指定管理施設の管理のあり方について

4 伊関明子 議員 11

- 倒木による村民の生活への影響について
- クマ・イノシシ・サル等の村の対応について

5 五十嵐正典 議員 12

- 大久保区の基幹水路について
- 柏木城跡について

6 若林幸子 議員 13

- 村の税金等について
- 村の各施設（駐車場）の対応について

7 酒井利美 議員 14

- ラビスパ裏磐梯のあり方について
- 空き家対策について

8 小椋元 議員 15

- ラビスパ裏磐梯の修繕について
- ラビスパ裏磐梯における入湯税の課税について

ズバリ!!

村政を質す!!

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質すことで、報告や説明を求めることをいいます。

佐藤 善博 議員



- ・税金及び使用料の徴収状況について
- ・クマさんバスの利活用について

税の徴収をより強化 すべきである！

問 固定資産税について徴収率が上がっているにもかかわらず滞納の徴収率が12.6%では、到底滞納繰越が無くならない。これについてどう思うか伺う。

答（村 長）

滞納分の解消は非常に大きな課題で、鋭意努力をさせていただいているところですが、会社の倒産や債権が残っているなど清算できないものがある大きな金額になっています。今後も解消について鋭意努力をさせていただきま

問 令和4年度、徴収の目標と徴収体制について伺う。

答（村 長）

4月1日の人事で体制の変更は予定している部分もあります。また、目標については、これまでのものを基礎とし、解決に結びつける新たな手法等も考えながら進めていきたいと考えております。

問 今後、定例会があるわけだが、その都度、数字的なものを報告すべきであるか考えを伺う。

答（村 長）

それまでの実績ということでの報告は、できると思います。

クマさんバスを有効に利活用するために 早急に検討を！

問 令和4年度のクマさんバスの実施計画について伺う。



クマさんバス

答（総務企画課長）

桧原湖周遊バスは、令和4年度に実施する計画はありません。車両は、裏磐梯物産館から五色沼入り口までの運行を計画したいと考えております。

問 磐梯東都が運行している2路線はどうなったのか伺う。

答（総務企画課長）

喜多方線は廃止するという方向で進んでおり、新しいバス事業者を考えられています。猪苗代線については、継続するという状況です。

問 物産館から五色沼、ではそれをどのように運行するのか、それを誰が運行するのか伺う。

答（総務企画課長）

これからの計画ですが、通年で運行するか、また、村で直接もしくは委託するのか、あるいはバス事業者の路線として営業するなど今後検討してまいります。

問 事業が軌道に乗るなり、目標が見えたときに、次の事業を進めるべきである。運行の実施について再度伺う。

答（総務企画課長）

裏磐梯喜多方線の新しいバス事業者が決まり、物産館と五色沼の間の路線の認可がされたあと、計画していきたいと思えます。

伊藤
敏英
議員

・人口が減り続ける中での村づくりについて

人口減少を前提に村づくりを考えていくべき！

問 一地方自治体が自力で人口減少を食い止めることは至難と考える。ならば、人口減少を前提とした村づくりを考えるべきではないか、村長の見解を伺う。

答（村 長）

各地区で取り組みを進めることによって、人口減少に歯止めをかけたいと思っております。自然文化、人を活かすことで、持続可能な生き生きと暮らせる村を実現できると思っております。

問 人口が2040年には2千人を下回るとの推計値も出ており、そうなれば行政サービスの低下

は避けられない。どのようにして持続可能な村をつくろうとしているのか、そのために、今やらなければならぬことは何なのか、考えを伺う。

答（村 長）

裏磐梯地区への住宅整備を実施することを決めていただきました。人口減少対策については、住む家や空き家等の対策等が今直面している課題と考えております。

問 生活支援に支給する商品券について、村内で使えるところをつくればいいのではないかと。村民や、裏磐梯・松原の事業者が利用すれば経営は十分に成り立つと考えるが村長の「村の駅構想」を伺う。

答（村 長）

私が掲げている村の駅は、住宅の近くに生活用品や村内の野菜を使った飲食店、特産品コーナーなどを備え、生活の利便性と観光客が利用できる施設で、人口減少に歯止めをかける政策と考えています。



直売所

特定地域づくり協同組合を設立し雇用の場の創出を！

問 2021年6月に金山町が県内初となる特定地域づくり事業協同組合の事業を開始することが大きく報道された。本村ではなぜやらないのか、

そもそも検討したことはあるのか伺う。

答（総務企画課長）

商工会に確認しましたが、この件について問い合わせは0件でした。村内でこの動きがないという状況なので庁内での検討は行っておりません。

問 役場が積極的に動かなければ組合はできないし雇用確保もできないではないか。あくまでも待つつもりか再度伺う。

答（村 長）

隣の山形県の小国町でも、地域おこし協力隊が中心となって設立に向けて奔走されたようです。そうした実施している町村の実情も、今後視察等を踏まえながら検討してまいります。

池田 睦宏 議員



- ・簡易水道の無断接続の件に関する進捗状況及び新規加入に関する内規の作成などについて
- ・村の指定管理施設の管理のあり方について

上下水道の加入について明確な規則を設けるべき！

問 先の定例会で質問した簡易水道に無断で接続した件の告訴状受理後の進捗状況がどうなっているのか伺う。

答（建設課長）

G O 合同会社代表の簡易水道に無断で接続した件については、弁護士と相談の上、令和3年8月16日に猪苗代警察署へ被害届を提出し現在捜査中とのことです。



問 12月定例議会において、新たに簡易水道の使用および下水処理の方法に問題のあったキャンペーンに対してどのような指導や改善を求めたのか伺う。

答（建設課長）

聞き取り調査を行い、県の振興局や条例等で問題が無いが再度確認しました。その結果、県としては違反はないとのことでした。村では下水道整備をしましたので加入促進していきたいと思えます。

答（建設課長）

村では施設を整備したので積極的に加入促進していきたいと思いますが、違反はないという事なので、そこも踏まえて、再度最終的に調整していきたいと思っております。

村の施設の管理をしっかりと！

問 ラビスパのボイラー更新に伴う対策はどうなっているのか。現在動いている重油ボイラーが故障した場合、どのような対策と責任を考えているのか伺う。

答（総務企画課長）

重油ボイラー1台を稼働し、令和4年度に1台を修理して2台で稼働できる体制を整える計画です。施設が利用できない場合につきましては、原因、修繕費用や期間などに基づき判断していかなくてはならないと思っております。

問 物産館の屋根の破損について、秋に工事したばかりなはずだが、責任に関してどのように考えているのか伺う。

答（商工観光課長）

設計につきましては、業者や技術主幹が確認し、問題ありませんでした。施工についても問題ないと認識していますが、施工業者のほうで補強して修理することです。



裏磐梯物産館

伊関 明子 議員



- ・倒木による村民の生活への影響について
- ・クマ・イノシシ・サル等の村の対応について

倒木による有事に備え対策を！

問 国立公園の松原裏磐梯は立木等の手入れがで
きず雪の量もあり、年々
倒木の危険性が増してい
るが、村の対応、特にコ
ロナワクチンの保管は大
丈夫か伺う。

答（建設課長）

異常気象時や、毎週定
期的なパトロールを実施
し、異常があれば、関係
機関と連携を図っていま
す。ワクチンの保管は、
蓄電池を配備し影響がな
いよう対応しています。



村道剣ヶ峯・狐鷹森線

問 バスの通学時間の問
題で、子供たちの進学先
を把握し、バスの通学時
間を検討するとともに、
倒木についてもしっかりと
対応してもらえるのか伺
う。

答（教育長）

完璧なマニュアルはあ
りませんが高校の進学先
が分かった段階で個人に
特定した対応策になるの
で、どこの高校に行く場
合でも利用できるバスの
配置について今検討中で
す。

裏磐梯にも鳥獣対策専門員を配置すべき！



問 昨年誕生した専門員
の活動内容と成果につい
て伺う。国立公園内で移
住を推進するための安全
な環境づくりについて村
の対応を伺う。

答（農林課長）

実施隊員との連携によ
り捕獲活動がスムーズに
行うことができ、鳥獣に
よる農作物被害が面積、
金額ともに減少につなが
ったと思われれます。

問 専門員の活動が約1
年となったが今後の課題
は何か。

答（農林課長）

大塩地区では、サルの
群れに発信機を付けるこ
とができたので、裏磐梯
地区でも生息域や行動パ
ターン等の情報の共有に
取り組み、調査できれば
と考えています。

問 サイトステーション
か、ビクターセンターに
専門員を配置すべきでは
ないか。考えを伺う。

答（農林課長）

専門員は現在1人なの
で裏磐梯地区もというの
は難しいですが、情報が
入れば合同庁舎の職員も
出向くような体制を取っ
ておりますので、今後も
そのように対応していき
たいと考えています。

五十嵐正典 議員



- ・大久保区の基幹水路について
- ・柏木城跡について

水路整備に継続的な支援を！

問 大久保区の基幹水路について、今年度に完了するところであったが、材料が入らないというところで工事が延期されている。完了するのはいつになるか伺う。

答（農林課長）

工事資材の納品が遅れるという事で、工期を令和4年3月20日までに変更しましたが、降雪の状況により繰越事業とし、5月上旬までには完了する予定です。

問 現在、現物支給で何年もやっているわけだが、耕作者の高齢化が進むと思われる。この先を見据えた上で、この水路整備を村で実施すべきではないか。

答（農林課長）

補助事業等を検討するとともに、集落水路整備について、中山間事業等の事業が基本となりますので集落で協議していただき、進めていきたいと考えています。

問 村長は昨年の秋に現地を見て、どの様な認識をしたのか伺う。

答（村 長）

取水口について、大雨のたびに手立てを講じなければならぬ状況が頻発するという事でありますので、優先課題と判断はさせていただきました。



柏木城跡発掘現場の様子

柏木城跡の継続的な整備を！

問 昨年の12月17日に国の史跡指定が答申されたわけだが、今後、正式に指定される時期はいつごろになるか伺う。

答（教育課長）

正式な時期については書類等の追加の提出が求められていないことから、一般的には数ヶ月で指定の告示が行われていると聞いております。

問 城跡の保存方法について、現在、一部分は埋戻しが行われ、石積みや土塁などはブルーシートで囲ったままであるが、今後はどのようにするのか伺う。

答（教育課長）

柏木城跡の保存活用計画を作成し、国庫補助を受けて保存していく考え

です。石垣などは専門家の意見を聞きながら、対応していきたいと考えています。

問 新型コロナウイルスによるイベントの中止で草刈りがなされていないわけだが、柏木城の草刈りの予算はどこをやるのか伺う。

答（教育課長）

予算計上してある草刈りにつきましては、城内の見学ルートを主に、活性化センターから上がっていく道を中心に考えて計上しています。

問 常に見学する人は来ているのだから、農道の草刈りもすべきである。再度考えを伺う。

答（教育課長）

持ち帰り検討すると共に、農道を管理している課とも協議させていただきたいと思います。

若林 幸子 議員



・ 村の税金等について

・ 村の各施設（駐車場）の対応について

納税は公平であるべき、徴収の強化を！

問 2月末現在、上下水道料の未納者の徴収状況がどうなっているのか。その納付状況、給水停止や再開栓の状況を伺う。

答（建設課長）

水道料金未納者へは、給水停止予告書を95件通知しました。2月末には、676万3,525円の納入がありました。給水停止を執行したのが10件でその後6件については再開栓をしました。

問 コロナ禍における猶予の件で、今年の1月が納期限で、4件が完納しており、残りの4件が未納とのことだったが、その後の状況について伺う。

答（税務課長）

固定資産税4件のうち3件については完納となりました。残り1件については一部内入れという状況で、納税義務者との間に3月末を納期限とする納付誓約を結んで対応している状況です。

問 真面目にやっていない人が猶予されている状況では、質問しなければいけなくなる。厳しく徴収方法を考えていくべきだが考えを伺う。

答（村 長）

大変重要な課題と全職員が認識をしています。これまでの経験をもとに、一円でも多く解消に努めていきたいと思っています。

村内の観光駐車場を有料化するべきである！

問 駐車代金を有料または協力金形式で、来村された観光客の皆さまからいただくということも必要と考えるが、村長の考えを伺う。

答（商工観光課長）

今年度実施したアンケート調査では、協力金に前向きな意見も多かったことから、令和4年度は、関係機関と協議しながら、実施について調整していきたいと考えております。

答（村 長）

問 三春町でも桜の開花時期に協力金という形で駐車料を取っていると聞いた。本村は四季を通じて観光客が来るので、良いことを参考にすべきだと思うが考えを伺う。

いろいろな観光地では駐車料金が観光施策につながったり、環境整備に使われたりというようなこともあるようです。この北塩原村においても検討していく時期かと思っております。



裏磐梯観光プラザ駐車場

酒井 利美 議員



- ・ラビスパ裏磐梯のあり方について
- ・空き家対策について

利用できない期間の補償をするべき！

問 ラビスパ裏磐梯について、時代にあった全体計画を見直す時期だと考えるが、どのように考えているのか伺う。

答（村 長）

これからの運営を継続するために、施設の安全性を確保し、持続的に利用者を確認すること、魅力ある機能を整備することが必要であると考えます。財源については、補助金や民間資金の導入も視野に入れ、検討したいと考えております。

答（総務企画課長）

村民の方々に状況を伝えなければいけないと思っています。村の構想が実現できるかと、利用できない状況の説明、この二つを分けて検討してまいりたいと思います。

問 年間パスポートを今

も売っているようだが、今後売っていくのか伺う。

答（村 長）

現時点でプールゾーンの方向性はお示しをするものがない状況です。年間パスポートの停止や、すでに購入された方々の判断により、利用者の方々と協議をしなければいけない項目かなと思います。

空き家対策で人口減少に歯止めを！

問 空き家対策について、空き家対策協議会を設置するとのことだったが、その進捗状況について伺う。

答（総務企画課長）

3月2日に協議会を開催しました。北塩原村空き家等対策計画の原案について協議をお願いしたところです。今後は委員の意見を踏まえ、令和3年度内に計画を策定する予定です。

問 地域おこし協力隊の方

方が空き家について調査したと聞いたが、その内容を伺う。

答（総務企画課長）

主なアンケート調査結果ではありますが、活用を進める上で必要な支援は、相談窓口の設置が28%、取り壊し費用の助成が25%という状況でした。

問 空き家を活用してお

試し住宅をしたらいいと考えるが、お試し住宅について、考えているのか伺う。

答（総務企画課長）

お試し住宅は非常に有効だと思っています。そして、今年度から、県のサポート事業を活用し、お試し住宅についての調査を進めてまいりたいと考えています。



小椋
元議員

・ラビスパ裏磐梯の修繕について

・ラビスパ裏磐梯における入湯税の課税について

**赤字の施設はやめる
決断を！**

問 ラビスパ裏磐梯の大規模修繕事業は、いつから始めるのか伺う。

答（総務企画課長）

現在、施設を維持運営するために、補助金の検討や民間資金の導入について協議している段階で、時期までは見通せない状況です。

問 修繕が20億から25億という見積りになると聞いたが、今までラビスパをやってきて、全く利益が出ていないという状況である。これをどう思うか伺う。

答（総務企画課長）

経済的効果、観光効果、雇用の効果がありました。

問 修理する費用はどうするのか。また同じようなやり方で続けていく計画なのか伺う。

答（総務企画課長）

その内容や予算につきましては、今後議会と協議しながら決定してまいります。

問 いこいの森なども全く収入がないのに、何百万円もかけてラビスパに任せている。村民のためには何の役にも立っていない。考え直す必要があると思うが、考えを伺う。

答（村 長）

それぞれの効果がこれまでもありました。この25年経った施設の修繕を行い、改めて健康増進施設、あるいは観光施設としても蘇るように考えていきます。

入湯税は公平に課されるべき！

問 ラビスパ裏磐梯の利用者に入湯税を課さないということになっているが、その理由を伺う。

答（税務課長）

入湯税を課さない理由につきましては、村税条例において定められているためになっております。

答（村 長）

この入湯税の取り扱いについては、議会で決定をして今日まで至っております。これを継続すべきと考えております。

問 入湯税というのは、言ってみればお湯という宝を守るための皆さんからの協力金だと思う。これは復活する考えは無いのか伺う。



ラビスパ裏磐梯

『ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議』 を全会一致で可決!!

2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、ウクライナでは多くの人が犠牲となっている。今なお侵攻をやめないロシアに対し、本議会ではこのような侵攻行為は断じて容認できないとし、抗議する決議を全会一致で可決した。

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権と領土を武力で侵害する行為で、国連憲章と国際法に違反し、国際秩序の根幹を揺るがすものである。

また、ウクライナ国内においては、子どもを含めた多くの人命が奪われており、このような侵略行為は断じて認められない。

さらにプーチン大統領の核の使用を示唆するような発言に対しても、核被爆国として厳しく非難するものである。

北塩原村議会は、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に断固抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、ロシア軍の即時完全撤退を求めることを強く要請する。
以上、決議する。

令和4年3月10日

北塩原村議会

ご入学おめでとう!

4月6日、村内の小中学校で入学式が一斉に行われました。小学校では、緊張と明日からの楽しい学校生活に目を輝かせている様子が印象的でした。



裏磐梯小学校入学式

小学校 入学式

3月25日、村議会議長室にて、福島県町村議会議長会の小椋眞会長より、安田清敏氏に対し、常務理事及び事務局長の辞令を交付しました。安田氏は2期目で、2年間の任期となります。



福島県町村議会議長会 辞令交付

ウクライナでは、ロシアの侵攻により多くの国民が犠牲となり、今なお戦禍が続いています。各国から多くの、様々な支援が行われていますが、いまだ出口の見えない状況が続いています。桜の季節となりましたが、ウクライナに一日も早く本当の春が来ることを祈ります。

委員一同

編集後記

編集責任者

議長 小椋 眞

編集委員

委員長 伊藤 敏英

副委員長 若林 幸子

委員 遠藤 祐一

委員 池田 睦宏